

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-43000
(P2001-43000A)

(43) 公開日 平成13年2月16日 (2001.2.16)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード (参考)
G 0 6 F 3/03	3 1 0	G 0 6 F 3/03	3 1 0 Z 5 B 0 6 8
13/00	3 5 1	13/00	3 5 1 G 5 B 0 8 9

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平11-214091

(22) 出願日 平成11年7月28日 (1999.7.28)

(71) 出願人 599106064

ネオスコポレーション株式会社

東京都新宿区新宿2-6-4 (第三日伸ビル4F)

(72) 発明者 宮崎 淳

東京都新宿区新宿2-6-4 (第三日伸ビル4F) ネオスコポレーション株式会社内

(74) 代理人 100080595

弁理士 西垣 康雄

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 メールツール

(57) 【要約】

【課題】 ユーティリティソフトとタブレットをセットにして使用することにより、簡単に手書きEメールが楽しめるメールツールを提供することにある。

【解決手段】 手書き文字やイラストのごとき手書き内容がペン入力可能なタブレットと、ペン入力された前記手書き内容をメールソフトに書き込み可能なプログラムを実行するコンピュータよりなるものである。また、本発明に係る媒体は、タブレットからペン入力された手書き文字やイラストのごとき手書き内容をメールソフトに書き込み可能なプログラムを記録し、コンピュータにより実行可能としている。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 手書き文字やイラストのごとき手書き内容がペン入力可能なタブレットと、ペン入力された前記手書き内容をメールソフトに書き込み可能なプログラムを実行するコンピュータよりなるメールツール。

【請求項2】 タブレットからペン入力された手書き文字やイラストのごとき手書き内容を、メールソフトに書き込み可能なプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ユーティリティソフトとタブレットがセットになって、簡単に手書きEメールが楽しめるメールツールに係るものである。

【0002】

【従来の技術】従前から、タブレットは、グラフィックツールとして、あるいは手書き入力データを文字認識ユーティリティソフトによりテキストデータに変換するツールとしては使用されてきている。また一方で、今や重要な連絡手段となっているEメールであるが、Eメールに手書きの文字や絵を書き込んで送ったり、あるいは、もらったEメールに文字や絵を書き込んで返信しようとする、もっぱらマウス入力に頼っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記したように、これまでは、タブレットを用いてEメールに簡単に文字や絵を書き込み可能にしようという発想がなく、例えば、Eメールにサイン（署名）を入力するだけでも一苦労だったものである。

【0004】このような実状に鑑み、本発明は、ユーティリティソフトとタブレットをセットにして使用することにより、簡単に手書きEメールが楽しめるメールツールを提供することにある。

【0005】

【問題を解決するための手段】本発明に係るメールツールは、手書き文字やイラストのごとき手書き内容をペン入力可能なタブレットと、ペン入力された前記手書き内容をメールソフトウェアに書き込み可能なプログラムを実行するコンピュータよりなるものである。また、本発明に係る媒体は、タブレットからペン入力された手書き文字やイラストのごとき手書き内容を、メールソフトウェアに書き込み可能なプログラムが記録されたものである。

【0006】本発明に係るメールツールによれば、手書き文字やイラストのごとき手書き内容をタブレットからペン入力すれば、タブレットに接続されたコンピュータによるソフトウェアの実行により、ペン入力された手書き文字やイラストなどの手書き内容をメールソフトに書き込み可能としている。

【0007】また、本発明に係る媒体は、コンピュータ

の内蔵メモリ、CD-ROM、FDなどの記録手段に、タブレットからペン入力された手書き文字やイラストのごとき手書き内容をメールソフトウェアに書き込み可能なプログラムを記録させて、コンピュータに実行可能としている。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を図にしたがって説明する。図1は本発明に係るメールツールの実際の使用例を示している。図において、本発明に係るメールツールは、コンピュータ1に接続されるペン入力式タブレット2と、コンピュータのメモリに記憶され、ペン3で入力された手書き文字やイラストのごとき手書き内容をメールソフトに書き込み可能なソフトウェアになっている。上記タブレット2は、マウス4と一緒に使いやすいように小型に設計されており、また、メールソフトについては次の手順のプログラムによっている。

【0009】すなわち、図2において、メールソフトを起動するとともに、本発明に係るソフトウェアを起動し、図3に示すコンピュータ画面5に表示された操作パネル6を使い、タブレットへのペン入力によってインク描画を開始する（ステップ101）。インク描画が終わるとその画像でよいときは「OK」ボタン7を、またキャンセルするときは「X」ボタン8をクリック選択させる（ステップ102）。「X」ボタン8がクリックされた場合は元に戻し、また、「OK」ボタン7がクリックされた場合は「過去の入力インクに保存する」か否かを判定する（ステップ103）。そして「過去の入力インクに保存する」が選択された場合は「過去の入力インク」に画像は保存され（ステップ105）、また、「過去の入力インクに保存する」が選択されない場合は、使用しているEメールソフトが特殊なタイプか、それとも対応確認がなされているEメールソフトかを判定する（ステップ104）。そして、Eメールソフトが対応確認がなされている場合は、クリップボード経由で画像はEメールソフトに書き込まれ、この実施例では現在カーソルのある位置の後に画像は貼り付けられ（ステップ106）、また、Eメールソフトが特殊なタイプである場合は、そのEメールソフトが採用している貼り付け手順にしたがって画像はEメールソフトに書き込まれることとなる（ステップ107）。また、クリップマネージャーには、各種のイラストが用意されるとともに、入力した画像が保存され、気に入ったイラストあるいは画像をドラッグアンドドロップにより貼り付けたい場所に貼り付けることができる（ステップ108）。

【0010】図4は、本発明に係るソフトウェアの実行によりコンピュータ画面5に表示される操作パネル6の実施例であり、それぞれのボタンの機能を以下に説明する。ボタン9をクリックするとソフトウェアは終了する。ボタン10は色の設定で、このボタン10をクリックするとインクの色を設定するメニューが表示される。ボタ

ンの色は現在設定されている色を表わしている。ボタン11は線の太さの設定で、このボタン11をクリックすると線の太さを設定するメニューが表示される。ボタン11上の点は現在設定されている線の太さを表わしている。ボタン12はクリップマネージャーの表示/非表示で、このボタン12でイラスト集クリップマネージャー13を表示したり、終了したりする。ボタン14は各種の設定で、入力したインク画像を「過去の入力インク」に自動的に保存するよう設定できる。また、インク入力のモードはこの実施例では5種類が用意されている。ボタン15は自由曲線の入力に関し、このボタン15をクリックすると自由曲線のインク入力モードとなる。ボタン16は直線の入力に関し、このボタン16をクリックすると直線のインク入力モードに入る。ボタン17は矩形の入力に関し、このボタン17をクリックすると長方形のインク入力モードに入る。ボタン18は楕円形の入力に関し、このボタン18をクリックすると楕円形のインク入力モードに入る。ボタン19はサイン入力に関し、筆のようなタッチで描画できる。

【0011】図5は、本発明に係るソフトウェアの実行によりコンピュータ画面に表示されるクリップマネージャー13で、左側はジャンル選択のエリアで、右側は選択されているジャンル内のイラストを表示している。また、「過去の入力インク」という特別なジャンルがあり、入力した画像を保存する。

【0012】図6は本発明を構成するソフトウェアの別の実施例であるEメールソフトによってコンピュータ画面20に表示された作成例であり、タブレットのペン入力により手書きの文字や絵をテキスト文字にかさねて書き込んで送ったり、あるいは、もらったEメールにタブレットのペン入力により文字や絵を書き込んで返信できる。

【0013】尚、本発明に係る媒体としては、コンピュータ内蔵メモリ、FD、CD-ROM、CD-R、CD-RW、MOなど種々の記録手段を用いることができる。また、一度書いた手書き文字やイラストは「過去の入力インク」に保存し、スタンプとして繰り返し使うことができる。さらに、デジタルカメラやスキャナーで取り込んだ画像も同様に「過去の入力インク」に保存し、スタンプにして使用できる。メールの相手には、手書きや絵のついたメールを見ることができるビューアソフトを添付すれば親切である。

【0014】

【発明の効果】以上述べたように、本発明のメールツールによれば、手書き文字やイラストをペン入力可能なタブレットと、ペン入力された手書き文字やイラストを、メールソフトウェアに書き込み可能なプログラムよりなるものであるから、手書き文字やイラストを簡単にメールに貼り付けることができる顕著な効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るメールツールの実際の使用例を示す図である。

【図2】本発明を構成するソフトウェアのフローチャートである。

【図3】本発明を構成するソフトウェアの画面の作成例を示す図である。

【図4】本発明を構成するソフトウェアにより画面に表示される操作パネル6の図である。

【図5】本発明を構成するソフトウェアにより画面に表示されるクリップマネージャー13の画面を示す図である。

【図6】本発明を構成するソフトウェアの別の実施例であるEメールソフトによる作成例を示す図である。

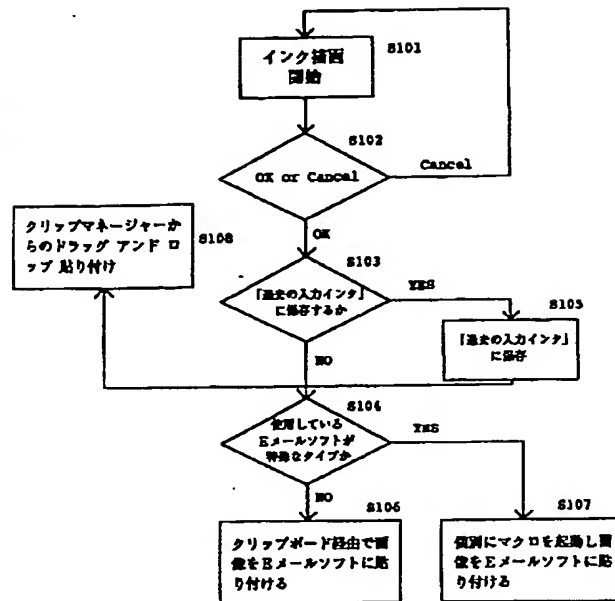
【符号の説明】

- 1 コンピュータ
- 2 ペン入力式タブレット
- 3 ペン
- 4 マウス
- 5 コンピュータ画面
- 6 操作パネル
- 7 ボタン（「OK」）
- 8 ボタン（「X」）
- 9 ボタン（終了）
- 10 ボタン（色の設定）
- 11 ボタン（線の太さの設定）
- 12 ボタン（クリップマネージャーの表示/非表示）
- 13 クリップマネージャー
- 14 ボタン（各種の設定）
- 15 ボタン（自由曲線の入力）
- 16 ボタン（直線の入力）
- 17 ボタン（矩形の入力）
- 18 ボタン（楕円形の入力）
- 19 ボタン（サイン入力）
- 20 コンピュータ画面

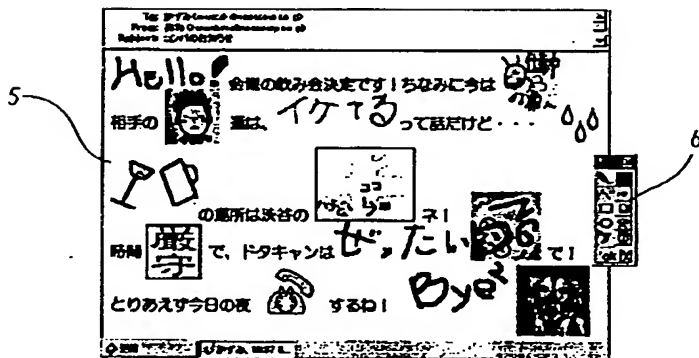
【図1】



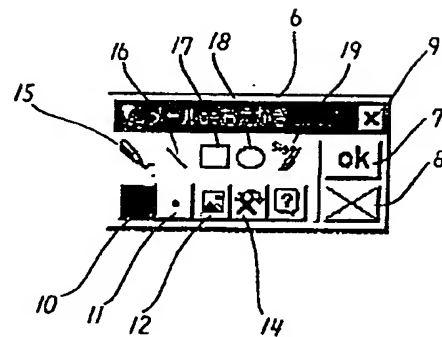
【図2】



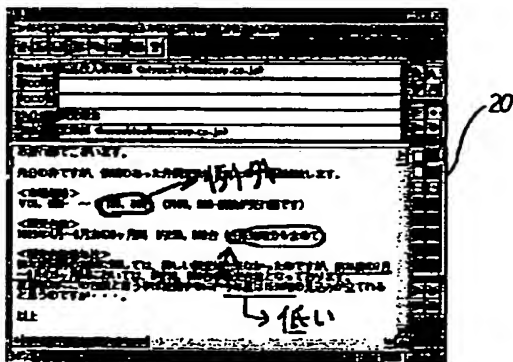
【図3】



【図4】



【図6】



PAT-NO: JP02001043000A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001043000 A

TITLE: MAIL TOOL

PUBN-DATE: February 16, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MIYAZAKI, ATSUSHI	N/A
KAWASHIMA, KOICHIRO	N/A
KATSURA, MITSUKO	N/A
OBATA, MITSUSACHI	N/A
KO, FUMITAKE	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NEOSU CORPORATION KK	N/A

APPL-NO: JP11214091

APPL-DATE: July 28, 1999

INT-CL (IPC): G06F003/03, G06F013/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a mail tool which enables

**a user to easily
enjoy handwritten e-mail by using utility software and a tablet as
a set.**

**SOLUTION: This tool is composed of the tablet 2 on which
handwriting
contents like handwritten characters and illustrations can be
inputted with a
pen and a computer 1 which executes a program capable of
writing the
handwriting contents inputted with the pen to mail software. A
medium records
the program capable of writing the handwriting contents like the
handwritten
characters and illustrations inputted on the tablet 2 with the pen
to the mail
software and enables the computer 1 to execute the program.**

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

THIS PAGE BLANK (USPTO)